

第43回 中高校生の吃音のつどい(お料理教室)

3月22日(日)、小学生10人、中学生5人、高校生7人、ご両親19人、スタッフ29人、DVD撮影2人の計72名が参加。江東区立男女共同参画推進センターにて。午前中はお料理。午後はグループに分かれての話し合い。

初めてリーダーをやらせていただきました。僕は司会役でしたが、それも結構楽しかったです。エンカウンターゲームに一人の人が好きな動きをして、周りの人がそれを真似するというゲームがありましたが、真似させる側の方が難しいと感じました。話し合いでは吃音の振りをするということがあったんですが、これが結構難しかったです。緊張すれば食べるのに、わざと吃ろうとすると自分では見苦しく感じました。終盤ではうまく吃れるようになっていきましたが、のどに力を込めれば喋れなくなりますが、ここらへんに吃音の理由があるのではと感じました。ご両親グループはおやつ作りで、ホットケーキにあんこやカスタードクリームを挟むという物でした。ホットケーキは僕も焼かせてもらったのですが、フライ返しがとても難しいと感じました。いつか出来るようになりたいと思いました。今回の吃音のつどいは僕にとっていい経験になりました。少し人間的に成長できたような気がします。これからも成長していきたいです。

(リーダー;松崎圭祐、中田周作、菊地香央莉)

E. Oさん(小4女子)

この間のつどいで、どもりの話をしました。それで分かったのは他の人にある自分には無いものがあるとか、自分だけにあるものとか、どもりはみんな色々だということです。ちょっと安心しました。これから、つどいや学校でどもりの事を幅広く知って欲しいと思います。

E. Oさん(小6女子)

グループに分かれて料理をしました。作った料理はクレープ・ミネストローネ・ツナカレー・チキンなどです。私が主に作ったのはツナカレー・クレープ・チキンです。クレープは最初はフライパンがダメで生地がへばりついてしまい何回か失敗してしまいました。でもフライパンを変えて作ったらいよいよキレイな色になりました。それを20~30枚ぐらい焼きました。他の料理もみんなで協力して作りました。グループで色々話をしながら料理をしました。また話し合いでは、どもりの気持ちになってお店屋さんごっこ(*)をしました。これは思ったより難しく大変でした。今回は色々な事にチャレンジして楽しかったです。次回も楽しみにしています。どうもありがとうございました。

A. Oさん(高1女子)

完成した料理も凄く美味しく自分達が作ったと思うと嬉しくなりました。私ともう一人の女の子が担当して作った料理を美味しいって言って食べてくれた方々もいて嬉しかったです。午後から、年ごとに集まって話し合いした時に同じ年の子がいて安心しました。自分にとって同じ年で同じように吃音を持っている人と友達になれた事がとても嬉しかったです。他にも同じ年や年上の方などいて、一人じゃないんだって安心しました。みんなの意見や考えを聞いて凄く参考になりました。

私はどうしても吃音の事を気にして考え込むタイプなんですが、中には吃音の事を気にせず明るく生活してる方を見て凄く思ったし憧れだと思いました。私もその方のように明るく気にせず生活したいと思いました。一緒に話し合った皆さんの考えを私の心の中に取り入れて参考にしていきたいです。

今回参加して凄く楽しかったし友達や新しい仲間が出来て初めて吃音を持つて生活も悪くないなと思いました。吃音を持つて居るからこそ出会えた仲間達もいるのでこれからは上手く吃音と付き合っていきたいです。

T. N君(高2男子)

今回初めて参加して、吃音で悩んでいる人は自分だけではないことを知り、また自分は吃音を治そうとするのではなく、むしろ受け入れてゆくべきなんだと思うようになりました。これからは人に愛に思われても疎遠にならずに、自分から近付くことを心がけたいと思います。昼食作りなどでも交流が深められてとてもいい機会になりました。次回もまた来れたら来たいと思います。

中田 さつき(スタッフ 周作君のお母さん)「お母さん！僕、言友会のスタッフになるから！」

10年前に言友会の存在を知り、中高校生のつどいに初めて参加しました。その時のスタッフの方々の優しさや面倒見の良い接し方に好感を持ちました。中学・高校と野球一筋の生活を送っていたため、つどいなど参加することがあまり出来ませんでした。そんな状況の中でも、いつも声をかけ続けてくれたスタッフの方々の姿を見て、将来、周作がこの言友会のスタッフとして活動していたらいいな～と思っていました。そんな思いがあの子に伝わったのか、それが現実になりました。佐藤さんから「今回、周作君がつどいのリーダーの一人になります。お母さん！リーダーになっている姿を見に来てください」と電話を頂きました。仕事もあるし、どうしよう～？と迷っていましたが、料理担当のリーダーになるということで、色々相談されたり、試作料理を何回食べさせられた事か！一生懸命に取り組んでいる周作を見て、つどいがスムーズに進められるか、この目で確かめたくくなりました。10年振りにつどいに参加させて頂きました。料理の作り方や手順の説明、各テーブルを回りながらのチェックなど、私の知らない周作の姿がありました。そして、料理を真剣に作っている子、スタッフに甘えたり、おしゃべりを楽しみながら料理を作る子、10年前にタイムスリップしたようでした。今回のつどいの経験が、自信の積み重ねの一つになったと思います。この貴重な役目を任せてくれたスタッフの諸先輩方に感謝いたします、ありがとうございました。来年も我が家の周辺でつどいが開かれるようでしたら、ごみの処分は任せてくださいね！

・どもる人の気持ちになってお店屋さんごっこ(*) 小学生高学年グループで行ったサイコドラマです。まず、スタッフのOさんと私でモデルを示し、吃音経験の無いお兄さん、お姉さん達にチャレンジしていただきました。演じてみることで、吃音の弟さん、妹さんがどもる時の気持ち？を感じていただき、どもることとはどんなものなのかを考えることを意図しています。ご両親グループで行ったものと同じです。(スタッフ 池袋小学校ことばときこえの教室 松村玲子)